

第38号
発行日:平成15年5月20日
発行所
東京青山同窓会事務局
〒107-0062
港区南青山3-18-4304
(有)ジェイ・クラブ内
TEL. 03-3423-3591
発行者 池

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
1口 1,000円2口以上(年間)
会計幹事:山根 伸之(64回)
振込先
みずほ信託銀行 本店
普4782496 東京青山同窓会
郵便振込口座 00150-9-1074

東京青山同窓会2002年総会報告 H.14.11.15 於 東京全日空ホテル

星野 紹英 (84回)

会場に向かう私の胸は…

毎年11月は東京青山同窓会の開催月。今年の楽しみは、第二部アトラクションの津軽三味線。私はこれまでテレビを通してしか聞いたことがない。それがナンと東京青山同窓会で聞けるとは。さらにそのうえ奏者は101回卒業のわが同窓生と聞き二度ビックリ。心わくわく、会場の全日空ホテルがある赤坂アークヒルズに向かう。

母校の今年の活躍に…

第一部は総会の部、恒例の会長・ご来賓などの挨拶の中で気を引いたのは、宮沢稔校長のお話の中で出てきた、各クラブの1年間の活躍状況。詳しい内容は忘れてしまったが、今年も後輩たちは、県大会・北信越大会・全国大会などで活躍した模様。思わず、熱く燃えた自分の現役時代を彷彿とさせたのは私だけだっただろう。

演奏を聞いて…

さて、いよいよ第二部津軽三味線。演奏は「高橋竹秀」氏。本名は小林史佳君、上にも書いたように101回卒業のわが同窓。

お母様も三味線を修養していた関係で、小さいころから修行を積んでいたという。現役時代はバスケット部で活躍したという彼は、後で並んでみたら私よりずっと背が高い。日本的な三味線に現代的な好男子、ちょっと対照的な取り合わせが意外な印象を受ける。今回の演奏は、実は7月の新潟での青山同窓会総会がきっかけだそう。その音色を会場で聞き感銘した栗林会長が、この東京でも皆に聞かせたいとのことで今回のご披露となった。初めて三味線の生演奏を聞く私にとっては、確かに胸の奥に響き渡る音色、心の奥深くで何かが突き起こされているような慟哭を感じる。用意してきたCDもあったという間に売り切れたというから、演奏を聞いて何かを感じたのは私だけでないのだろう。計3曲味わい深い時間を過ごす。懇親会の主役は…

第三部はお待ちかね懇親会。「創立110周年記念式典」のビデオがバックで流される。記念式典のみならず、いつの時代の映像なのか、青陵際やラグビーの試合様子など母校の歴史を物語る映像が刻まれている。

さらに今回の懇親会を盛り上げたのが、今春卒業したばかりのフレッシュな110回卒業生。ただでさえ100余名の参加者を集め活気溢れる中、110回生は一大勢力とな

る多数の参加者を得、応援歌合唱では壇上を占領し、溢れる若さを惜しげなく出席者一同に分け与える。

と、もうすでにお別れの時間となってしまった。全くあっという間である。これで別れるのも惜しいと、それぞれに話をつけて二次会へと足を運ぶ出席者も多数。私は、来年のアトラクションはどんなものだろうかと今から期待を膨らませて帰路に着いた。

平成13年度決算報告および14年度予算

収入の部		単位:千円	
費 目	13年度決算	14年度予算	備 考
前年度繰越金	2,176	1,948	
年会費	1,885	2,000	1000名
総会会費	1,036	1,100	120名
新人歓迎会・講演会費	676	700	100名
協賛金	8	15	カード10件
本部補助金	500	500	
雑収入	50	37	
合 計	6,331	6,300	

支出の部		単位:千円	
費 目	13年度決算	14年度予算	備 考
総会費	1,173	1,200	
新人歓迎会・講演会費	830	900	
事務局費	99	150	
会議費	129	150	
通信費	744	800	
印刷費	1,353	1,000	会報2回発行
振替手数料	55	60	
次年度繰越金	1,948	2,040	
合 計	6,331	6,300	

注: 13年度 13.10.1~14.9.30
14年度 14.10.1~15.9.30

平成13年・会務報告(会期: H13/10/1~H14/9/30)

平成13年	10月9日	第2火曜日の会
	10月20日	110周年記念式典(新潟)
	10月23日	秋期会報発行
	11月6日	幹事会
	11月16日	平成13年度総会
	12月11日	第2火曜日の会&忘年会
平成14年	1月30日	新年会(有志)
	2月12日	第2火曜日の会
	4月9日	第2火曜日の会&幹事会
	4月23日	幹事会
	5月20日	幹事会
	5月24日	春季会報発行
	6月11日	第2火曜日の会&幹事会
	6月21日	平成13年度新人歓迎会・講演会
	7月12日	青山同窓会総会(新潟)
	9月10日	拡大幹事会



ウィズ・ワンで集まろう

東京青山同窓会会長

栗林 貞一 (59回)



イラク戦争が終わったらSARS騒ぎです。21世紀の地球は一体どうなっているのでしょうか。皆さんお元気ですか。

ところでわが東京青山同窓会には、また新人歓迎会の時期がめぐってきました。

今年は6月27日(金)です。

今回はスピーカーとして前新潟市長の長谷川義明氏(61回)をお招きしております。過去12年にわたり、郷土新潟の発展のための責任者として尽くしてこられた長谷川さんのお話は、新人達はもちろん私達全員にとっても有益で示唆に富んだものとなると期待しております。そしてさらに新・新潟市長の篠田昭氏(75回)にもお越しいただき、動きはじめた新市政と活性化への抱負などについてお話いただきたいと思っております。これらが実現すれば、上村青山同窓会会長、長谷川前市長、篠田新市長が東京で勢揃いすることとなり、私共にとって、まことに画期的、かつ実に愉快なことでもあります。

さて、ここで一つ提案があります。東京青山同窓会の総会、新人歓迎会の出席者数が、最近やや漸減気味のようなのです。これは大いに問題です。多数の人達が出席し、ますます盛会となってこそ、同窓会で集まった意味があるというものです。出席者が減り気味では、

同窓会の発展はおろか、会の財政運営にも影響がでできます。私自身の経験からいっても同期会は気軽に集まって文句なしに楽しいのですが、同窓会となると皆と話をし、仲良くなるまでは、1人で出席することは気持が進まないということはあり得ることだと思います。

そこで皆さん、今度の新人歓迎会に出席するときには、1人で出席するのではなく、同期の友人などに声をかけて誘い合わせて出席することにしようではありませんか。

1人で出席するのではなく、もう1人と一緒に出席—それが with one です。出席すればすぐに仲良くなります。お互い身内ですから。

とくに今回は上村会長のほか、長谷川前新潟市長、篠田新新潟市長が出席されます。このような豪華キャストの同窓会ですので、是非 with one で大勢集まり、楽しく飲みかつ語りましょう。

東京青山同窓会栗林会長の春の叙勲を祝して

花井 進 (59回)

四月二十九日(火曜日)の朝刊で春の叙勲欄に目を通された方は、すでにご存知のことと思いますが、勲二等瑞宝章受章者欄に我が東京青山同窓会の現会長、栗林貞一氏(五十九期)のお名前が掲載されておりました。栗林氏は県立新潟高校在学中から、我々五十九期生の中でも常にトップの成績でしたが、

テニス部に所属するスポーツマンでもあり、温厚で優しい思いやりに満ちた性格は、同級生ばかりか下級生達からも慕われ、この度の叙勲には真に相応しい人徳者として、誠に喜ばしいことと心から祝福いたします。

栗林氏は現役で東京大学に進学し、国家公務員上級職試験に合格して運輸省に奉職、要職を経て最後は海上保安庁長官まで昇り詰めて退官されましたが、万事順風満帆だった訳ではなく、過重な業務に体調を崩して入院されたこともあり、それだけにご本人だけでなく、古稀を迎えた我々同期生の喜びも一入

深いものがあります。

将に相馬御風作詞の県立新潟中学校校歌の一節にある、「青陵健児のかんばしき 栄誉をあげむ弥高く」を実現された栗林貞一氏に、諸人挙って拍手喝采を贈ろうではありませんか。そして東京青山同窓会が栗林会長を輪の中心として、益々団結し大きく広がっていくことこそが、現会長に対する真の祝福ではないだろうかと思えます。

古稀祭り 春の叙勲に 色添えて
栗林貞一会長、本当にお目度うございました。

ごあいさつ

新潟市長・篠田 昭 (75回)

東京青山同窓会の皆さま、昨年11月の新潟市長選では東京から大変なご支援をいただき誠にありがとうございました。お陰をもちまして新潟市長に当選することができました。改めて厚く御礼申し上げます。

政党や労働団体などの後ろ盾がまったくなく、市長選挙・ボランティア選挙を掲げた私ですが、青山同窓会有志の強い絆を感じた選挙戦でした。

市長にさせていただいてからは助役・収入役人事などを含め、無難に船出することができました。これも選挙戦で訴えてきた「雇用の場の拡大による活性化」と「安心・安全な暮らしづくり」の必要性が市議会でも理解されたためと思っています。

この2つの目標を新潟で実現する一番の早道が合併-政令指定都市づくりだと私は考えています。青山の先輩でもある長谷川義明前市長がレールを敷いてくださった「田園型政令市」に「分権型制令市」の要素を加え、近隣12市長村と一緒に78万都市をつくる構想です。

2月の任意協議

会で合併方式(新潟市への編入合併)などで合意をいただきました。2005年3月までに合併すれば、合併特例により新潟は本州の日本海側で初の制令市となれます。今後も新潟市政の運営に力を尽くしていきますので、今後もご支援・ご助言をお願いいたします。



同窓生—Yellowpages 1

原風景

株式会社 神田不動産鑑定
代表取締役・不動産鑑定士 神田 直樹(87回)

新潟高校では、本田至先生クラス、柔道部の幽霊部員でした。部長の立川先生に練習前や校内清掃前に捕まってお叱りを受けたことを思い出します。学科の勉強よりも出席日数の計算に長

け、赤点にもめげず、補習だけは皆勤で、かろうじて卒業させていただきました。とても我が子には、勉強しなさい、と言えない父親です。

現在は東京都中野区に居住、新宿で不動産鑑定業の小さな事務所を構えて14年になります。バブル経済と狂乱地価、一転して土地神話の崩壊と資産デフレ。仕事柄、日本がかつて経験したことのない地価変動の歴史上に生きていることを痛感しています。

思えば、車窓から現新幹線口の向こうに広が

っていた田圃を眺めながら特急「とき」に乗り上京以来、四半世紀が経ちます。当時想像だになかった職種を生業とし、東京都民となった現在と高校在学当時を思い比べれば、若輩ながらも隔世の感慨を禁じ得ません。当時の新潟と母校は私の原風景でもあります。

(株)神田不動産鑑定
TEL 03-3358-7007



東京玲瓏会

幹事 佐藤 恪 (58回)

300余人の同期生の約半数を擁する、我ら「東京玲瓏会」は例年10月か11月の金曜日に開くのが通例である。これは全員が現役時代の名残りで、暑さ、寒さと多忙の時期を避け又、遠方の会員の便宜を図っての事であったが、ほとんどの全員が現役を離れた現在も続いている。但し本年は諸般の事情に依って止む無く、11月26日の火曜日に定例の「市ヶ



谷ハウス」にて開催された。

当日、定刻を待たずに来り集う者は、新潟から長駆参加の大関允良君と加藤高弘君を加えて27名、先ず幹事から昨年湯沢で開かれた「古稀記念新潟東京合同玲瓏会」以降

の情況報告、次いでアメリカより新帰朝で久し振りに参加の故を以って指名された田代喜十郎君の発声で乾杯、時計の針を50数年巻き戻して哄笑、論議、空腹と希望に満ちた青陵健児の昔に立帰った嬉しい2時間の宴でありました。最後に新潟から参加した加藤高弘君が音頭をとって、校歌の一番と五番、「玲瓏の天あおく時」と「いざわが友よもろともに」を故郷の景色を偲びつつ大声で歌い合い来年の再会を誓って散会となりました。以上

『65歳・人生節目の邂逅』
64回同期会・47名集う

世話人会事務局 坂井敬・川崎明

東京の桜が満開になったというのに、無常の雨が一日中降り続いた4月5日(土)、六本木・東京全日空ホテルで東京青山64回(昭和31年卒)同期会を開催した。今回は東京としては3年ぶり。

新潟からの参加者5名をはじめ、名古屋、浜松などから遠路馳せ参じた人たちを含め、参加者は総勢47名(うち女性4名)。中には、卒業以来という人たちもいて、それぞれが昔を懐かしみ、近況を語らいながら、にぎやかにひとときを過ごした。

今年は、全員65歳という、人生の節目を通じた画期的な同期会ということもあって、自然、話題は趣味や健康問題に集中。早速ゴルフコンペの紹介や「一緒にやろう」という呼びかけも、あるいはまた、趣味の仲間集めに話題がはずむのも自然の成り行きだったようだ。



4時からの開会も、気が付いたら「あっという間の2時間半だった」と、参加者が思いを等しくした集まりではなかったか。「これからは毎年やらない?」という声が出たのも、はたまた、出席者の半数以上が二次会に参加したのも、あながち懐かしさばかりではなく、歳のせいもあったかと、深く感じ入った次第ではある。

(坂井敬・記)

この期は卒業生総数347名。うち、一昨年の創立110周年記念式典に合わせて、新潟で開催した前回の同期会時点で判明していた物故者は37名。

その後、今回の開催日までに判明した物

故者は、本間政利・石崎海男(以上は郷青山)、菅原武・森内威宣・野沢七男・宮田勝彦・熊谷敏彦(以上は東京青山)の7氏である。合計44名の同期生がすでに冥界に旅立った。

謹んでご冥福をお祈りするとともに、今回不参加の各位に、こ

の紙面を借りてお知らせしたい。

なお、今回の会場・東京全日空ホテルでは、販売部長の清田甚さん(82回)にいろいろなご配慮をいただいた。おかげで気持ちよい宴会ができた。お礼を申し上げるとともに、他の期の方がたにも、ご利用をお勧めしたい。

さらに、二次会の会場には「日本海庄や」赤坂店を選んだ。ここはお馴染み東京青山第2火曜日の会の例会場である。

今回の世話人会準備会、打ち上げ反省会にも利用したが、店長の箕輪伸一郎さんにはいろいろわがままを聞いてもらった。

(川崎明・記)

社会に巣立つ後輩たちへ

森田琢夫 (71回)

春は眠くなる。猫は鼠を捕る事を忘れ、人間は借金のある事を忘れる。時には自分の居所さえ忘れて正体なくなる(夏目漱石「草枕」)。

と、迄はいかぬ迄も誰しも「春眠は暁を覚えず」である。

春眠不覚暁 春あけぼののうすねむり
處處聞啼鳥 まくらにかよう鳥の声
夜来風雨声 風まじりなる夜べの雨
花落知多少 花ちりけんか庭もせに
(孟浩然「春暁」土岐善麿訳)

中国唐の時代の初期、邯鄲という町に一人の老人が、昼飯の黄梁を炊いて休んでおった。そこへ廬という青年が野良着姿の汚れた格好で牛を引いて立ち寄り、嘆息して言うには「あゝ男として生まれて来ながら一生百姓で終わるとは」と。老人穏やかに応えて曰

く、「あんたのような丈夫な身体をもった青年が何を不幸ぞ」と。廬「いえいえ、世が世なれば私だって大将とか大臣になって豪華に愉快に暮らしたいものです」。老人はそうかそうかと頷いて側の袋から枕を取り出して廬青年に言った。「さあさ、これを枕にして寝てごらん。功名富貴、意のままだ」。

青年はいつのまにかうとうと寝入ってしまった。それからどうした訳か、ともかく立派な邸宅に住む身になって、財産家の美人娘と結婚した。毎日不自由なく贅沢に暮らし、進士の試験にも優秀な成績で合格して、地方長官、知事へとトントン拍子に出世した。加えて皇帝の命に従いチベット軍を大敗させ、勇躍して凱旋するや名望は全土に聞こえた。

ところが好事魔多し。大いなる功績を嫉む輩に中傷されて左遷の憂き目に遭う。悶々と過ごす事三年余、誤解も解けて復活、中央に返り咲いた。今度は累進を重ね遂に宰相となった。実権を握ること十年。またしても同僚の嫉みに遭い獄中の人に。

妻の懇願と周りの支援を得て、皇帝の怒り

を解き、再び大臣となって位人臣を極めた。沢山の子供たちもその恩恵に浴し、九族一門榮えに榮えた。そうこうするうちいつしか年をとり、全土から名薬を集め治療したが、効無くして息を引き取った。

とたんに目が覚めた。鼻に黄梁の芳香。側には件の老人が座っている。廬「なんだ夢だったのか」。老人笑いながら言うには「青年よ、よい夢を見たか。人生とはこんなものだよ」。廬青年悟るところがあったか、深謝してもと来た道を牛を引いて帰っていった。

人生將に「邯鄲一炊の夢」である。後輩諸君、やがて人にはそれぞれの顔が異なる如く個々人に役割・使命があつて、それぞれの「分を尽くす」ことが「生きていく意味」だ、と気付くに違いない。だからこそ「論語」に言う「聞者(表面だけ立派な有名人)」を願わず、「達者(自分が選んだ道の達人)」を目指せ。還暦を迎える一先輩から贈る言葉である。



▲森田氏著書
東京図書出版会

新潟高校114回新入生

1学年主任 玉木 正己(86回)

4月7日(月)平成15年度の入学式が行われました。3年間で卒業した場合は、青山114回生となります。今年は、普通科361名(男子181名女子180名)理数科41名(男子34名女子7名)合計402名(男子215名女子187名)が入学しました。ここ数年男子が女子よりも少し多いくらい状況でしたが、今年は普通科においては、男女比がほとんど1:1になりました。1年生のクラス役員も、例年は男子が級長をするケースが多いのですが、今年は、積極的に立候補して級長をする女子がでて、10クラス中5クラスで女子が級長をしています。40代以上の同窓の方々は信じられない状況ではないでしょうか……

入学早々といえば、応援練習を思い起こされる同窓の方が多いと思います。最近では、教室で行わないで、晴れたらグラウンド、雨なら体育館で応援練習を実施しています。(閉鎖され

た空間では問題行動が多い)。期間も昔は2週間でしたが、今は5日間に短縮をされています(とても耐えられないで欠席する生徒が多い)。5日間で、すべての応援歌を憶えるのは大変なことなので、今年から100周年の時に作った校歌と応援歌のテープをCDにして生徒全員に配布しました。時代とともにいろいろなことが変わってきています。

ところで、今年入学した生徒は学習指導要領元年の生徒です。高校入試のときには、あまり感じなかったのですが、授業を進めると、いままでの生徒よりも学力が劣っていると感じる場面が多くあります。中学校でかなりの授業内容が削減されていることが影響していると思われる。大学入試のレベルが変わらないとそのし寄せが高校現場に来るだけにこれから授業等をどう進めて行くべきか頭を悩ませているところ。とはいっても新潟高校の生徒です。自主的に勉強してくれることを願っているのですが…… 文武両道の「武」の点では、今年も多く生徒が部に登録しました。運動部68%、文化部20%、合計88%の生徒が

放課後元気に活動をしています。この割合は県内では非常に高い数値で文武両道を実践しようとする生徒の意気込みが出ています。ただ、学校全体でみると最近、運動部の団体競技が不調であります。1年生が是非、新潟高校の起爆剤になってくればと思います。

今年の夏休み、新しい試みで1、2年生で東京の大学訪問、また、2年生が企業・研究室訪問を計画しています。情報社会とはいえ、やはり実際に目で見て体験することが、高校生のやる気を伸ばす動機になると考え、この事業を計画しました。現在、東京青山同窓会のお力を借り、なんとか形になりつつあります。次年度以降も実施する予定ですので、同窓の方々の益々のご協力を賜ることが多いと思いますが、後輩のためよろしくお願ひいたします。

新校舎に移り5年目、グラウンド前庭が完成し2年目になりました。木々もようやく落ち着いて来た感があります、新潟を訪れる機会がありましたら、学校にも足を運んで下されば嬉しいです。

MANDALA in MONGOLIA

片桐 靖忠(67回)

世界最大のパッチワークマンダラをモンゴルの大草原に広げよう!! MANDALA in MONGOLIA マンダラ広げ隊、たたみ隊として50名を募集。皆様のご参加をお待ちしています。

前回ご紹介しました「世界最大のパッチワークマンダラ」が3月26日、NHKハイビジョンスペシャルで2時間番組として放映され、多くの方々に感動を与え反響を呼びました。さて、この「世界最大のパッチワークマンダラ」をモンゴルの大草原で広げることになりまし

た。世界16ヶ国、10,000人もの人々の手によって縫いあげられた81のパーツ。その1パーツ、左上部「お釈迦様の誕生」の部分をモンゴルで制作しました。モンゴルでは、ダショーレン寺の大僧正であるダンバシャウさんが責任者となり、モンゴルの歴史的なマンダラを補修している専門家たちに相談。ヒシグバヤルさんの指導でモンゴルの高い技術を持った人達が参加し、ボランティアによって完成されました。昨年12月に広島市民球場で2回目のご開帳が行われましたが、海外でははじめて。なだらかな草の丘の中腹に世界最大のマンダラが広げられます。期間は9月22日～29日(8日間のツアー)の

予定。日本のTV局も入り実況予定です。

このツアーでは、モンゴルのボランティアをまじえてのマンダラ交流のほか、ウランバートルのホテルでのモンゴル政府要人や大僧正たちとのパーティーやセレモニー、モンゴル相撲、競馬、弓射、ホーミーモンゴル伝統芸能などのエンターテインメントを見たり、飛行機でゴビ砂漠や恐竜化石探検なども組みこまれています。大草原の一週間にぜひご参加ください。

ご連絡はマンダラ21モンゴルプロジェクト実行委員会まで。
Tel.03-5148-5747 片桐



同窓生—Yellowpages 2

株式会社こおけん財務総合研究所

代表取締役 中繁 芳久(87回)

金融機関のサラリーマン時代の私は、「売上利益拡大の盲目的信者」として競争に勝ちノルマ

を達成することに悦びを見出していました。でもマネーゲームの世界が空しくなり28歳で脱サラし、試行錯誤の結果立ち上げた会社も、結局「お金」に関わる仕事でした。我が研究所の専門は企業のキャッシュフロー改善ですが、目標は「MONEY WITHOUT MONEY」、これはお金にこだわらずにお金が入ってくる状態です。相反する命題に見えますが、喜ばれるようにお金を使っている会社に

は結果的にお金が集まってくる…。すなわち、お金は無目的に貯めこむ(STOCK)よりも流通(FLOW)してこそ、その本来の価値が活きるようです。お金はエネルギーの一種なのかもしれません。

www.koken-tokyo.co.jp
世田谷区玉川田園調布2-3-6
TEL03-5483-0520



同窓生—Yellowpages 3

20年で9回転職

第一生命 田中 隆(87回)

“青葉城恋唄”にふらふらと仙台へ進学して、直江津出身の大学の先輩に薦められて第一生命に入社したのが58年。以来、仙台から横浜、東京、堺、新潟、苫小牧、川越、姫路

を経て今回2度目の東京勤務となりました。

20年で9回の転職という年平均2.2年ですが苫小牧には5年、横浜は半年と長さはまちまちでした。北海道では新潟出身の方が多数活躍しており、苫小牧の県人会に毎年参加できたのは随分励みになりました。

今回の東京ではなんと青山同窓会が毎年開催されるよう参加するのが楽しみです。昭和63年に堺で当時は珍しいFPを拝命してから経営者や役員のみならずの相(争)続や退職

金運用などの相談での経験は豊富で顧客第一主義を信条にして参りました。

私に相談をご希望される方は気楽にご連絡ください。

(ガン保険、損保、投資信託など幅広く対応可)

〒100-8411
千代田区有楽町1-13-1
TEL 03-5221-4463
第一生命FP営業部



「若きビジネスパーソンへ。-自分自身の付加価値を付けるには-」

田崎 正巳 (84回)

先般(本年4月)、15年余の戦略系コンサルティング会社及びプライベートエクイティ会社の経験を経て独立することとなりました。この機会に、青山同窓会の皆様、特に若手ビジネスパーソンの方々へこれまでの私の経験から少しでもお役に立てることがあればいいなと思いいんをとりました。

私がこれまでやってきたことは、大きく3つあります。一つ目は、大企業の戦略作りを通じて日本企業の改革を進めるお手伝いをする(「BCG」や「ATカーニー」という米系コンサルティング会社で実践してきました)。二つ目は、実際に中堅・中小企業を買収して経営改革を実行・実現し、最終的に大企業の戦略部門へその会社を売却すること(欧州系投資会社の「アータルグループ」でファンド及び企業経営をしていました)。そして三つ目が、これらの経験を実社会のビジネスパーソンに教育することです(「グロービス」というビジネススクールでファカルティを続けております)。今回設立しました(有)STRパートナーズは、これらの全ての事業に加えて中堅・ベンチャー企業支援も視野に入れて活動していきたいと考えております。私の自己紹介はこの程度にして、本題に移りたいと思います。

医者や先生などいらいっしやるでしょうが、東京に出てきている多くの若手青山同窓生の方々はおそらくなんらかの形で企業に勤務されている方が多いことと思います。言うまでもなく、企業経営は日本や世界が経験したことのないステージに突入しています。規制は益々緩和され、モノだけでなくサービスも国境を越えて厳しい競争に入っています。そうなった場合の、これからのビジネスパーソンは、どうあるべきなのでしょう？ そのためにはどんな準備、心構え、行動をすればいいのでしょうか？ 私は実務家ですので、精神的な側面から見

た部分は割愛させていただきます。

まず言えるのは、皆さんに転職志向があるうとなかろうと、今皆さんが勤務している会社が20年、30年後も今と全く同じ形態で動いている確率は相当低いということです。というか、大半はなんらかの行動により変わっていると考えた方がいいでしょう。従来は、「潰れる」か「生き残る」かの二者択一でしたが、これからは「資本提携」「吸収合併」「業種転換」「業態転換」「外資傘下」「スピナウト」「ファンド傘下」などなど、法律上は残っているものの今いる会社とは似て非なる形になる確率のほうが高いでしょう。数年前に「天下の興銀」に入った人が今の姿を想像できたでしょうか？ そうなった場合はなんらかの形で第三者が入り、事業だけでなく人間も評価します。つまり、好むと好まざるにかかわらず、若手ビジネスパーソンは「ウチの会社の事情に精通したプロ」では役に立たなくなるというわけです。となると、やっぱり「グローバルスタンダード」なのか？ 難しいMBAを取らないとダメなのか、ということとそんなことは全くありません。皆さんがこれからの仕事で日々意識し、実践し、時々時間を使って学んでいけば十分間に合います。

まず、ビジネスをフレームワークで考える訓練、習慣をつけることが大切です。要するに大きな枠組みで考えるということですね。現場に入ってしまうと、中々大きな視点で見ることができなくなります。この業界での成功するための要因(KSF)は何か？ 自社は「どの分野で勝負すべきか？ その場合の競争上の優位性は何か？ それは、今後も続くのか？ なぜ続くのか？」といった観点を自問自答してみたり、同僚と議論してみるのもいいでしょう。良くない答えの例は「要因はいろいろです」「どの分野ももう少し頑張れば負けません」「ウチだけじゃなく業界全体が悪いから仕方ないです。だから、ウチの問題というわけではありません」などです。

次に業種、業界を超えてビジネスの共通言語として議論ができるかどうかが重要です。「ウチの会社」「ウチの業界」を超えて、上記のような分析ができるのでしょうか？ 「ウチの会社

を知らない人には説明しようがないよ」とか「業界の初歩的専門用語すら通じない相手」が、この業界のことをわかるはずないじゃないか」なんて言ったら赤信号です。これは高校や大学の同窓生同士で試してみるのもいいかもしれません。

そして、一番大事なのは徹底した顧客志向です。「お客様第一主義」などという会社はたくさんありますが、ほとんどの会社(特に大企業)は供給者の論理(これをサプライヤーズロジックといいます)で仕事を進めています。ご自分の会社だと気づかなくても、皆さんが顧客になった場合には、たくさん感じていることと思います。「遊んでるわけではないのです。夕方事務作業が膨大にあるから、3時に閉めないで終わらないのです」などという説明で済ましている銀行。「カスタマーサポートは24時間万全です」といいながら、すぐに電話がつながったためしがないパソコンメーカー。「カーライフのことならなんでも揃って便利なディーラー」といいながら、とんでもない値段でカー用品を売っている正規ディーラーなどは、すぐにつけ込まれるわけです。消費者からの発想(コンシューマーズロジックといいます)でビジネスモデルを作り上げる訓練を積み、まだまだビジネスチャンスはたくさんあります。

これら3つの要素「フレームワークで考える」「ビジネスの共通言語で議論できる」「徹底した顧客志向の発想」が備わっていれば、今の会社がどうなるうといきなり第三者から評価される時が来ようと心配要りません。これらが備わっていれば、「プロフェッショナルなビジネスパーソン」としてどこでも通用するでしょうし、ヘッドハンターも放って置かないでしょうね。一般に、優秀な経営者はこれらの要素が備わっていることも事実です。皆さんのビジネスパーソンとしてのご発展を祈ります。

有限会社
STRパートナーズ
代表 田崎 正巳
(84回卒)



同窓生—Yellowpages 4

究極の回転ずし「ぴんとこな」オープン

(株)サンマーチ 太田 裕 (71回)

さて、いよいよ皆様お待ちかねの「ぴんとこな」が東京の新名所として話題沸騰の六本木ヒルズで4月25日オープンいたしました。私共としては、この店が都心型の回転ずし店としては極致ではないかと自負しております。歌舞伎の世界をモチーフに徹底的に作り込まれた店内で、一流のずし職人が丹誠を凝らした握りずしや各種料理、そして世界の銘酒を心行くまで御堪能頂ければこ

れに優る喜びはございません。

尚、「ぴんとこな」は、歌舞伎の役柄を表す専門用語の一つで、「男らしい、きりっとした二枚目」を意味します。私共がこの「ぴんとこな」を店名に用いましたのは、出来る限りぴんとこなの名に恥じないような仕事をし、且つ私共の料理とサービスでお客様の心が豊かになって頂くために最善を尽くすことを忘れないためであります。

どうか一度、足をお運び頂きたく心からお願い申し上げます。

東京都港区六本木6-4-1
六本木ヒルズ メトロハット/ハリウッドプラザB2F
「ぴんとこな」六本木ヒルズ店 ☎03(5771)1133

営業時間 11:00~23:00(年中無休)
日比谷線 六本木駅より徒歩0分



代表取締役社長 ▶
太田 裕 (71回卒)

平成15年新人歓迎会・講演会のお知らせ

【日時】

平成15年6月27日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開会

【会費】

一般 8000円

女性 6000円

大学生 3000円

新人 2000円 (111回卒)

【会場】

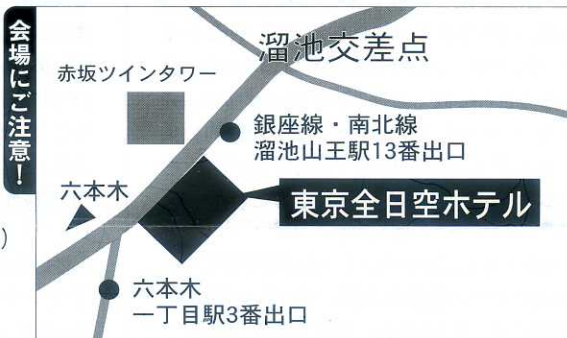
東京全日空ホテル

港区赤坂1-12-33

TEL. 03-3505-1111(代)

【講演会】長谷川義明(61回・前新潟市長)

【懇親会】着席buffet



最寄り駅 【溜池山王駅・13番出口】銀座線・南北線

【六本木一丁目駅・3番出口】南北線

路線バス 【赤坂アークヒルズ前】下車 都01系統／新橋駅～渋谷駅

講師紹介

講演テーマ

まちづくり・新潟都市圏の動向



長谷川義明(61回・前新潟市長)

【略歴】

昭和33年 京都大学建築学科卒業
建設省入省
昭和60年 新潟市助役
平成2年11月 新潟市長当選(3期在職)
平成14年11月 退任
平成15年5月現在 NPO特定非営利法人
「新潟愛郷会」理事長

長谷川氏は、新潟高校、京都大学時代を通じてバレーボールに打ち込まれ、国体出場も果たされたほどのスポーツマンでいらしたとのこと。まさに文武両道の青陵健児にふさわしいお人柄で、激務と言われる市長職を12年の長きに亘って勤められ、大胆に市政を牽引されてきました。

新潟市民芸術文化会館(りゅう〜とびあ)の開設、下水道など都市基盤整備の推進、そしてサッカー・ワールドカップの開催などは記憶に新しいところです。

この度「政令指定都市」への大きな夢を後輩の篠田昭(75回)新市長に引き継がれたところでもあります。来賓として篠田新市長も臨席される当夜は、新潟への熱き思い、そして若い世代への期待を大いに語って頂けることと思います。

会員の皆様、是非、お聞き逃しされませんように！(編子)

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう？」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、連絡先を書き添えて事務局宛FAXをお送りください。FAX. 03-3423-1692(日下部・82回)

- 住所リスト1学年／3000円
- 宛名ラベル1学年／4000円

偶数月第二火曜日の会

平成15年・16年の予定

<H15> 6/10・10/14・12/9

<H16> 2/10・4/13

6/8・10/12

日本海庄や(赤坂店)7時～
港区赤坂3-13-7 Tel:03-3586-5003

場所も時間も定例です。
ご自由にご参加ください。

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらない「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が
省けます

IDカードとして
お持ちください

【すでに同窓会カードをお持ちの会員様へ】

年会費自動引き落としのお知らせ

平成14年度(平成14年10/1～平成15年9/30とします)同窓会年会費(2000円)を平成14年11/26頃ご指定の口座よりお引き落としさせていただきます。

事務局よりお知らせ

この度、新潟青山同窓会事務局の三浦弘子さんが13年の歴史を刻んで退職なさいました。新たに外山和子さんがバトンを受けられこの春より活躍中です。新潟の新しい「顔」としてどうぞ宜しくお願いいたします。三浦さん、長い間お世話になりました。本当にお疲れさまでした。(編子)

■計報■

今期、事務局にお知らせ頂きました。

玉木繁治 (18回)	淡路和雄 (48回)
川上英三 (33回)	安達正平 (62回)
坂井直芳 (34回)	熊谷敏彦 (64回)
熊倉雄三 (35回)	菅原 武 (64回)
中村信一 (35回)	野沢七男 (64回)
牧野哲二 (37回)	宮田勝彦 (64回)
吉田正男 (38回)	森内威宣 (64回)
小和田岩男 (39回)	居城三郎 (66回)
中村亦夫 (41回)	福田 実 (75回)
品田 弘 (45回)	横村 宏 (80回)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

一筆啓上

～H14年度 総会への出欠はがきと会費振込用紙に添えられた近況です。～

通信制12回 田山秀三

交通安全協会の仕事5月で退職。只今休養中です。

34回・山崎重三郎

三年前から大腸炎手術などで休養中です。従って会合は欠席します。皆さんのご活躍をお祈りしています。

36回・関昇

斉藤英四郎君が死んで寂しくなった。彼にはクラス会等で話になった。(小生幹事)

40回・高田信川

夫婦二人の生活の所、妻が9月末に娘が来てくれるので、出席することが出来ます。

41回・五十嵐富市

私の兄弟4人の男性はともに旧新潟中学校卒のもので、一番若い五十嵐真典は卒然とまづ過ぎ、一番目兄もH13年12月94才で逝き残った私は41年卒、次弟は44回で、私85才弟は82才でなんとなく生きていますが、いずれは…で心許ない。

45回・知野正

貴会に入会したという記憶が無いのですが、何時、どういう形で会員となったのか、そのへんの事情をお知らせいただければ幸いです。(私の失念でしたらお詫びします。)

46回・浜田敏衛

病氣療養中の為欠席致します。

49回・山田信威

病気がちで余生はみじめです。同窓会とも縁がない現在に残念です。

49回・赤松元敏 日々養生中にて候

49回・廣川浩一

さしも威勢のよかった東京の49回組もなんと寂しくなったことよ。

50回・寺田秀夫 御盛會を祈ります。

50回・一柳俊夫

払込取扱票の拙宅の電話番号が間違っています。

50回・山田英世

卒業回数は50回です。訂正して下さい。

52回・渡辺達郎

卒業生の各回、各期には夫々の幹事がいると聞いている。幹事たる者は己の使命を自覚しているのか。単に己の利害関係だけに終始しているとは思いたくない。懇会の出席率も幹事の責務の一つである。

52回・大塚幹雄

おかげ様で、ますます元気で過ごしております。

52回・佐藤修二

胃痛の為、胃の全摘手術を受けその後、腸閉塞を患い外出もままならなくなりました。今後ご案内を遠慮させて頂きたいと思ひます。あしからず。

53回・盛山淑郎

何年ぶりに同窓会名簿(110)を手にして先輩、同輩の鬼籍に入った方々の多いことに驚く。憤んでご冥福を祈ります。

53回・長沼典典

現在病氣引き籠り中に就き、悪しからず。皆様の苦辛を深謝致します。

55回・阿凡威吾

心肺機能が低下しており、大事をとって欠席させて頂きます。総会の盛会なんこと祈ります。

55回・加藤喜一

病気で入院中なので欠席させて頂き。どうぞ皆様によりしくお伝え下さい。

56回・三崎正一

今回は56期会と重複しましたので、欠席させていただきます。

58回・宗村泰四郎

残念な年欠席させていただきます。ご盛會をお祈り致します。

58回・堀内俊夫

58回玲瓏会が11月26日に東京で開催されますので、今回は出席を見合わせることにします。

58回・毛利剛

鎌子港で水揚げされる鰯を毎日食べて、なんとか元気にしています。

58回・佐藤格

御盛會を祈ります。お祈り申し上げます。年令相応な健康状況です。週一回の太極拳と散歩が運動です。11月26日(火)に58期クラス会「玲瓏会」が開かれます。そちらに出席します。

58回・大門啓沼

11/12～18旅行中の為欠席。

59回・池田正文

来年3月の新宿三越さんでの第5回目の個展に向けて、取材や制作に忙しい毎日です。

59回・岡田久

予約あり欠席致します。盛會をお祈りします。

59回・水沢邦弘

当日、所用の為、欠席致します。

59回・藤原幸雄

健康、麻雀、スポーツクラブ、カメラと週一日の勤務です。肝機能が疲れている様です。

59回・渡邊敏男

いつもご案内を頂き有り難うございます。元気で居りますが、上京の機会が減ってしまいました。次の機会には…と思っています。

59回・牛木素吉郎

あいにく勤務先の大学祭と重なって出席できません。次回にはぜひ参加したいと思います。

60回・石黒忠士

至って元気にしております。仕事の都合で出席できなくなりました。盛會をお祈り致します。

60回・池浦厚司

残念な年先約あり、欠席します。御盛會を祈ります。

60回・市村哲

残念ながら欠席します。元気に生活しております。

61回・佐藤敏夫

御盛會をお祈りします。

61回・中村正春

61期の小児科医 長沼雄峰君(現 秋田通信診療所長)が「偏屈医者の落書き帳」を出版しました。11月15日の同窓会総会で推薦頂ければと思っています。宜しくお願い致します。

61回・磯野啓

返事が遅れて申し訳ありません。

61回・小池弘

東京会報第32号で「第25回東京青山61期同窓会」の報告をされた幹事、藤田太郎君(61回)のご尽力に心からお礼申し上げます。同君は私と一度も同クラスではありませんでしたけれど、どういふのか同君のハキハキした秀才振りが胸に焼き付いています。また同号のyellow page での中村正春君(61回)は旧四中の同級生。高校生入試の時、市立高(現南高)への進学勧告を一蹴して県高と言う栄光をつかんだ男。第二の職場でまた栄光をつかむと思います。

62回・鈴木勉

去る10/12日、青山62回生48周年同窓会に出席(初めて)しました。久しぶりの母校の文化祭をみて、サッカー場(ビッグスワン)の場内を案内・説明を受け、故郷新潟の大変な肌で感じた。2年後に50周年を約し上京しました。

62回・佐藤勝彦

相変わらずの会社務めです。今回もまた失礼させていただきますが、参会の諸兄姉によりしくお伝え下さい。盛會を祈っております。

63回・村山弘義

私が役員になっている会合と重なるため残念ですが、欠席いたします。御盛會をお祈りいたします。

64回・坂本昌弘

丁度、帰郷の予定にしています。ご盛會をお祈り申し上げます。

64回・津野慶治

今年はゴルフ年間100ラウンドを目標にかんばっております。当日も予定が入っておりまして申し訳ありませんが欠席します。

64回・吉田豊祐

今年4月から完全リタイアとなりました。取りあえず欠無な町内会を中心に生きてます。ご盛會をお祈りします。会費は昨年同様払いましたので、今年はパスします。

64回・三國六朗

遠慮と歩みて来たりわが人生。ふと振り返れば夢の一刻。

64回・坂井敬

今回所用あり欠席致します。会社時代の友人達が次々病氣にかかり健康の大切さにしみております。皆さまによりしくお伝え下さい。

64回・川崎明

今年ばかり出張と重なってしまいました。調整を試みましたが無理でした。

64回・田村正樹

お盆に64回中組の同級会があり卒業以来の人も多く会うことが出来、有意義でした。

64回・清水良男

故里の老母介護の為、帰郷しており残念ながら欠席させていただきます。御盛會をお祈りいたします。皆々様によりしく。

64回・佐藤盛

ご案内を頂きありがとうございます。11月16日に新潟で母の一周忌を行いますので残念ながら欠席します。

64回・田村邦彦

来春の総・自治体選挙に向けて、小生が会長をしている某後援会の活動が忙し。16日に行事があり、その準備で15日は無理。申し訳ない。皆様によりしく。

64回・中谷光隆

青山同窓会名簿・平成14年版を一覧し、ほぼ25名ほどの同期生が世を去ったことを知り、冥福を祈る次第です。

65回・五十嵐徹

①14年度会費は、6月14日振り込みました。②「マンション登記法」を刊行(日本加除出版)したところ、すぐ増刷となりました。

65回・山田寛

当日予定ありますので、欠席とさせていただきます。

65回・金子恵三

今回はまた65回、同期会(11/23)が新潟市で開催されるので、初めてそちらの方へ参加することに致しました。

66回・横山修二

昨年は失礼したので、今年こそはと思っていたのですが、当日は東京を離れていますので、欠席の為、お詫し下さい。

66回・長谷川明彦

この10月横須賀から新潟に転居致しました。

66回・風間聰一

皆様方にヨロシクお伝え下さい。おかげ様で元気でやっております。

67回・大野隆治

たのしい同窓会で、多くの出席があるといいですね。

67回・一柳肇

出席可能となりました。返事遅くなってしまい申し訳ありません。

67回・神田昭紀

昨年定年退職。目下マイペースで生活をエンジョイしていますが、卒業して早や43年。時の経過は改めてびっくりしています。

69回・山崎高明

当日出張で不在の為、欠席致します。

70回・土田進

業務都合で今回もやむなく欠席させて頂きます。盛會を祈念致して居ります。

70回・福島治

ダンテ研究は漸くpurgatorio、後一步です。宜しく。

71回・太田裕

いよいよ六本木ヒルズのオープンが見えてきました(4月25日)。当社の店名は「びんとこな」です。是非お越し下さい。(業態は回転寿司です)

72回・小林正昭

早いもので、この10/28結婚30周年(新潟。平安閣で挙式)を迎え記念に11/15～17小旅行します。ご盛會を祈念申し上げます(同期生によりしく伝えて下さい)

72回・斎藤俊正

相変わらず元気でFLITしています。空からの新潟の様子も毎回新鮮にみえます。世界中に平和が来る様に、皆で努力したいものです。同窓会の盛會をお祈り致します。

72回・松永宏

多忙のため欠席させて頂きます。

73回・田中正弘

来年、新潟にて個展開催。2003年8月21日～8/30日。於、絵屋。

74回・加藤直久

出張中なので出席出来ません。皆さんによりしく。

74回・岩城修平

引越したため、返事が遅れて申し訳ありません。

74回・岡村康生

2度目の鹿島勤務も4年目に入りました。あやめの潮来市にて庭を築きながら生活しています。

75回・有蘭順子

期ス盛會! 藤田氏の当選!

78回・須藤善郎

連絡遅くなり申し訳ありません。なお、名前は「須藤義朗」ではなく「須藤善郎」です。よろしく。

78回・肥田博子

文化祭のボード遊びでギョウ腰になってしまい、その後あまり回復が順調ではありません。様子を聞いていましたが、今回は欠席することになりました。御連絡遅くなってすみません。

79回・小田幸治

最近、少々いそがしくて、今回は参加できそうにありません。会がますますの発展を祈っています。

80回・長正子

青山だよりを楽しく拝見させて頂いています。先輩方の御活躍ぶりを読むと励まされます。

82回・宮村伸一

出張の為出席できません。

85回・田中千恵子

住所変更しました。会報誌いつも楽しみにしています。

85回・登坂和生

最近会社もアジアへのビジネス展開に力を入れており、ソウルや北京への出張が多くなりました。

89回・岩野尚子

8月14日に新潟で89回の40S Partyがあり(40才になるので)35名が、出席しました。卒業以来お会いするのが初めての方も多く、深夜まで盛り上がりました。

90回・田辺文

同窓会の名簿を有難うございました。思い出の友の顔を思い浮かべつつ、懐かしく拝見致しました。が、早くも90回生にはお二人の物故者が。同期生の短すぎる生涯に胸が締めつけられる思いが致します。御盛會でありますよう。

90回・斎藤結花

新人会で、初めて出席させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

91回・諸橋良哉

遅くなりましたが、住所変更だけ報告いたします。

104回・星野由紀

夏に同級会を行いました。変わっていない様で変わった様で…。卒業以来初めて会ったクラスメイトと楽しく飲みました。

106回・鈴木完

同窓会のHPがあると良いと思うのですが。作る計画等があれば、協力させていただきます。お願いします。

107回・宮島望

住所が4月より変わっておりますが、なかなか連絡できず遅れて申し訳ありませんでした。

108回・今井悠紀子

108回卒業生、今田夕焼さんが引越しました。

110回・十二康典

返答が遅れました申し訳ございません。

110回・酒井優理子

前回の同窓会では田田任の先生方と懇話会までできて嬉しかったです。今回もよろしくお願い致します。

平成14年度・会費納入者一覧
H14.10.1～H15.4.30現在まで

36回(1名)	藤井 義良	建部 恒彦	石黒 忠士	嶺国 公典	大野 隆治	斎藤 敏武	山崎 信行	田中 昌夫
八木 博	村山 一	田村 量一	石田 章	本井 孝至	岡崎 功	斎藤 俊正	山崎 信行	田中 昌夫
37回(2名)	51回(8名)	照木 仁	市村 哲	山崎 敬介	片桐 靖忠	島村 礼子	76回(20名)	星野 郁夫
五百川 豊吉	浅見 信夫	中川 邦司	岡村 嘉志	吉田 行	片山 忠一	鈴木 建一郎	青山 正裕	星野 紹英
馬場 幸一郎	石塚 誠也	中島 直彦	小川 秋実	63回(15名)	川崎 昌彦	高橋 忠	岩原 俊介	85回(15名)
38回(2名)	上野 仁	中山 昭一	落合 夏樹	浅野 康一	斉藤 久美子	高橋 祐介	小田 高久	雨木 若慶
高野 政夫	笠井 謙	成山 順治	掛橋 尚賢	阿部 隆二	佐々木 邦夫	太刀川 圭一	尾張 明美	荒井 裕子
丸山 岩三	笠原 仰二	庭山 六郎	金山 常吉	五十嵐 信一郎	高橋 三郎	戸田 満弘	加澤 正樹	大谷 郁夫
40回(2名)	梶井 功	路谷 健児	河田 鐵雄	石渡 利男	高橋 信夫	富田 由李	加野 裕資	奥村 基
小山 賢市	北村 茂	庭山 六郎	切貫 直	市川 瑞夫	寺井 宏	花沢 満	久住 治	久保田 浩一
高田 信川	坂野上 啓	藤田 康	小出 久司	今井 亘	西田 美代子	原 絢子	近藤 修二	笹川 康雄
41回(5名)	52回(10名)	伏見 康	小林 賢一	會 正之	前田 康久	藤原 直之	近藤 壽邦	澤井 伊知子
伊藤 一雄	浅田 稔	堀藤 四郎	近藤 純夫	笠原 恵	三村 裕二	原 直之	佐藤 芳春	塩田 拓哉
布施 栄信	阿部 和夫	増田 祐孝	高城 英雄	白倉 至	山田 尚男	細谷 長貞	柴田 明雄	杉林 亨
星名 孝平	北村 新平	松井 昭五	高橋 正樹	高橋 良行	吉田 一郎	松永 宏五	島 健介	杉山 真理子
片山 彦三	児島 壽一	三崎 正一	馬場 幸夫	高橋 政説	安達 賢司	渡辺 毅之	鈴木 茂夫	早福 博史
東城 真佐男	斎藤 泰五郎	宮田 和明	千葉 潤	村山 弘義	安達 雅巳	阿部 裕	田中 邦直	奥村 真理子
43回(7名)	斎藤 泰五郎	宗村 慎三	中田 亨	山田 量一	安達 雅巳	飯村 修久	太原 まゆみ	早福 博史
梅田 悌次	坂井 保也	村松 茂樹	長橋 洗	山田 恵一	薄田 詔二	石黒 治	長北 洋一	花角 英世
小沢 省三	廣川 勲	山口 和郎	野村 保夫	山田 益也	上村 肇	中野 治	細谷 洋一	森 大輔
里見 義忠	村山 玄二	山城 教成	長谷川 秀三	64回(28名)	川崎 肇	成田 常也	湯水 雅恵	86回(5名)
滝沢 義雄	湯水 昭二	山田 幸輝	早武 正博	青野 啓	熊谷 尚武	渡辺 雅夫	渡辺 雅夫	斎藤 健
徳重 茂	53回(9名)	山田 陸男	廣瀬 欽次郎	阿部 欣司	斎藤 康人	一色 由美子	77回(10名)	田中 利直
野澤 正男	飯島 金志良	山中 幸正	益子 敏視	植村 健治	重野 猛	山川 美道	片山 裕	前田 智子
本間 武	岩原 昭	山本 幸正	宮田 庄之助	川口 徹	竹石 肇	74回(24名)	神戸 裕	宮腰 重三郎
44回(7名)	近藤 圭二	小野塚 彰	山崎 良一	山崎 明	田辺 紀子	藍沢 幹人	北村 一雄	87回(3名)
金子 一夫	佐藤 圭二	池田 成義	山崎 淳夫	桑野 光雄	寺尾 正大	石井 拓男	角南 隆	小林 徹
倉 耕一	佐藤 圭二	指宿 敬里	赤堀 朝日	齊木 俊一	長沼 誠二	石山 范	角南 隆	田中 隆
斎藤 伸雄	中島 常雄	植村 未哉	明 和郎	坂井 敬	増子 藤男	和泉 久則	田原 勝	渡辺 政城
坂井 健一	盛山 淑郎	片桐 欣哉	安宅 久憲	坂本 昌弘	松橋 英夫	江口 則男	生野 実	88回(5名)
佐々木 俊男	武石 和風	片桐 啓三	阿部 亜生	笹川 弘	松原 伸子	大石 憲一	長谷川 実	関 博祐
錦織 登美夫	55回(9名)	斎藤 茂	伊藤 恒夫	佐藤 裕子	渡邊 千鶴	大滝 均	山田 民夫	長谷川 隆
45回(4名)	青木 正作	田中 浩次	大橋 恒夫	清水 正幸	渡部 治子	小水 恵介	小野 隆知子	諸橋 博樹
大滝 俊夫	阿尻 威吾	永井 植崎	河井 良三	清水 正幸	渡部 治子	糟谷 直久	川村 和共	吉津 博
川村 明義	斉藤 繁治	廣橋 忠雄	川崎 栄一	田伏 正樹	青木 利祐	加藤 博	斎藤 敏朗	89回(1名)
野瀬 秀雄	中村 正義	路谷 秀満	河辺 全也	田巻 亮	岩尾 朋弘	加藤 博	斎藤 敏朗	倉田 裕一
本島 哲三	中村 幹男	福田 実	木村 久須	津野 慶浩	小黒 孝靖	加門 隆	須藤 善郎	90回(5名)
46回(2名)	富所 強哉	堀内 俊夫	熊谷 隆幸	中川 純仁	清水 敏之	菊池 榮	田村 一成	歌代 真人
山田 市男	村山 義夫	松井 泰四郎	小池 弘	中島 輝久	樋口 一義	北嶋 榮	肥田 博子	勝山 達志
47回(3名)	吉原 賢二	村山 保	小嶋 元雄	庭山 満	山崎 建男	黒木 幹雄	田村 一成	木村 和人
朝日 翠	56回(64名)	毛利 剛	齊藤 伸昭	星 満	池田 好正	佐藤 浩保	田辺 文	斎藤 結花
斎藤 しょう太郎	荒井 宏	本谷 昭栄	杉山 由人	真壁 日史郎	石井 堅一	佐藤 浩保	向井 美夜子	田辺 文
吉田 六郎	荒井 昌	池田 裕一	高橋 駿	65回(16名)	猪口 孝	竹之内 明	村田 光男	91回(3名)
48回(3名)	飯島 昌和	岡田 久	田村 文男	安藤 宜清	岡田 誠一	西田 百合子	渡辺 茂	酒井 祐司
佐藤 素一	石崎 智	園城 駿	鶴巻 正義	伊藤 忠明	加藤 邦敏	原 信一	河 正子	真保 恵美子
利田 利男	石田 智	笠井 金卷	中村 正春	川合 英次	川田 昌人	三田村 健一	斎藤 浩爾	石黒 智泰
渡邊 徹	49回(16名)	伊藤 親	長谷川 耕一	河路 明夫	関根 俊明	青木 有蘭	西口 幸男	橋田 篤英
阿部 正	阿部 正	井上 淑	長谷部 良雄	久保田 泰雄	田辺 豊	石塚 文雄	星名 健二	97回(1名)
岡本 治雄	岡本 治雄	指宿 淑	村岡 健	小林 亘	田田 野川	伊藤 博	長 正子	渡邊 英典
小田 登	小田 登	今井 二	谷田部 信	佐藤 武行	馬場 誠	岩淵 植村	小野 秀子	102回(1名)
梶原 計佐	梶原 計佐	逢坂 七郎	石田 克浩	柴澤 皓	福島 修	枝並 一夫	玉木 友二	池田 哲郎
木村 竜一	木村 竜一	大谷 紳児	安食 恒昭	山崎 耕一	山宮 正孝	大越 敏雄	荒川 洋	103回(1名)
工藤 弘安	工藤 弘安	大野 利夫	石黒 恒	山田 寛	吉川 美那実	岡田 政文	尾山 尚	106回(2名)
倉田 資孝	倉田 資孝	鹿見 昌雄	植松 隆之	山本 和親	浅輪 達治	小畑 修	上村 典男	静野 治子
仁保 武人	仁保 武人	加藤 昌次郎	内山 貞子	横山 修二	井上 恵	清田 甚	笹川 典男	野本 裕史
廣川 浩一	廣川 浩一	金子 隆	大高 康夫	山田 寛	太田 裕	小池 康男	日下部 朋子	107回(1名)
廣崎 裕二郎	廣崎 裕二郎	北村 晴四郎	小池 健治	66回(12名)	浅輪 達治	西山 活子	池田 哲郎	嘉樹 誠
本間 俊之	本間 俊之	丸山 弘志	佐藤 武司	67回(20名)	井上 恵	宮村 伸一	伊藤 誠	山口 光太
丸山 弘志	丸山 弘志	一柳 俊夫	鈴木 田中	71回(10名)	太田 菊代	吉田 実	山崎 信昭	
岩澤 信夫	岩澤 信夫	小黒 晴夫	永井 梓	72回(20名)	堀清 森田	高橋 正省	杉本 信昭	
小黒 晴夫	小黒 晴夫	佐藤 剛一			石田 庄	高橋 正省	高山 佳郎	
高橋 修彦	高橋 修彦	塚賀 博				高橋 正省	山口 虎彦	
敦賀 秀夫	敦賀 秀夫	寺田 勇司				高橋 正省	横山 修	
時田 晴信	時田 晴信	中村 晴信				高橋 正省	横山 修	

感謝
56回学年幹事
村植三氏の
力により、63名
会費をご入金い
だきました。
(事務局拝)

以上656

以上656名

感謝
56回学年幹事宗
村植三氏のご尽
力により、63名の
会費をご入金い
たきました。
(事務局拜)